

# 特集 1

## 海の神秘に魅せられた アクアバイオ研究の最前線

海は地球上の全ての生物の故郷である。特に海洋国家である日本人にとって、海は豊富な水産資源を供給してくれるだけでなく、素晴らしい海辺景観や快適な生活環境を提供してくれるかけがえのない存在である。しかし、20世紀の急激な経済成長と物質文明の浸透は、海洋の汚染、海洋生物の乱獲、水温上昇など様々な問題を海洋にもたらした。21世紀に生きる私たちは、様々な機能を果たしている海の生態系を守りながら、持続的にその恵みを楽しむ仕組みを早急に構築して、次の世代に引き継ぐ義務がある。本特集では、海の生態系と資源を守るためにアクアバイオ研究の最前線で活躍している研究者に登場してもらい、アクアバイオ研究にける夢を語っていただいた。

コイ、ドジョウ、ナマズから  
サケ・マスそしてクリオネ、オオカミウオへ  
東京農業大学生物産業学部 鈴木淳志 教授

地域の水産問題解決に  
アカデミックに貢献できたら最高  
東京農業大学生物産業学部 千葉 晋 講師

沿岸の藻場からアクアの全貌の解明に挑戦  
(財)環境科学技術研究所 西野康人 研究員

藻類の美しさと可能性のとりこに  
東京農業大学生物産業学部 水野 眞 教授

ヤマトシジミが教えてくれた  
漁場環境モニタリング研究の重要性  
日本シジミ研究所 園田 武 研究課長

アメリカンロブスターからオホーツク海の  
カニ資源の予測へ  
水産総合研究センター遠洋水産研究所 金岩 稔 嘱託研究員

魅力あるオホーツクの農林水産業を  
リモートセンシングで解明したい  
東京農業大学生物産業学部 朝隈康司 講師

アクアバイオ学科：  
オホーツク海から世界の水産と水圏環境を考える  
東京農業大学生物産業学部 伊藤雅夫 学部長

